

美しい京都・丹後の岬に 米軍レーダー基地はいらない!!!

『京都に米軍基地いらない府民の会』が結成集会



米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称・京都に米軍基地はいらない府民の会）は、5月22日、ラポール京都で、東奥日報社の齊藤光政・編集・論説委員を招き、会場いっぱいの250人を超える参加者で結成集会を開催しました。



地域主権が及ばない米軍基地の設置は認められない

丹後連絡会・副代表・石井内海さん



集会では、司会の新婦人京都・森下総子会長が、この集会に中央団体や大阪・滋賀の民主・平和団体が注目しメッセージが寄せられ、参加されていることを紹介。

開会のあいさつに立った京都総評・吉岡徹議長は、「丹後織物が3%台と低迷のもとで、米軍のレーダー基地の設置で、地域住民に分断を持ち込もうとしている」と指摘。日本共産党の倉林明子参議院・国政委員長は、「前政権と現政権が、北朝鮮の挑発を利用し、設置しようとしている。棚田が広がる美しい岬に米軍基地はいらない」と連帯のあいさつ。現地を代表して丹後連絡会の石井内海・副代表は、「進駐軍の犯罪や冷却水など、住民の不安には軍事機密としか答えない。地域主権が及ばない米軍基地の設置は認められない。原発のように札束でほほをなでるやり方で、「棚田百選」の地に133番目の米軍基地はつくらせてはならない」と力強く決意が述べられました。

主目的は米本土の防衛、巨大な電子レンジが置かれると思えばいい

東奥日報社・論説・解説委員 齊藤光政さん



特別報告として、青森県の地方新聞「東奥日報社」の齊藤光政・編集兼論説委員が講演。齊藤さんは、青森・つがる市に、なぜ最初にXバンドレーダーが設置されたか、そして、なぜ、次は京丹後市なのか。米レーガン政権がミサイル防衛構想として、①ミサイル発射時に破壊、②大気圏内で破壊、③本土に着地前に迎撃、の3段階として対応するための情報収集がXバンドレーダーの正体である。青森県・つがる市・車力に最初に設置されたのは、98年の北朝鮮のテポドン発射が契機となったが、狙いは三沢基地のF16戦闘機にあったこと、京都への設置は、普通の環境で京都市内へも

当面のとりくみ

- 6月11日(火) 12時～ 街頭演説・デモ 府庁・東門
- 6月 4日(火) 17時30分～ 署名宣伝行動 四条烏丸
- 6月20日(木) 17時30分～ 署名宣伝行動 三条河原町
- 6月15日(土) 15時～ 丹後町・宇川現地集会

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称：京都に米軍基地いらない府民の会)

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

行けることから、隊員のリフレッシュする環境が備わっていること、基地も自衛隊基地の中に設置することから、事前協議の対象とせず、日米安保を逆手に取った、アメリカ本土防衛が主目的であり、いっそう日本がアメリカの戦争に巻き込まれる危険性が高まると指摘。レーダー基地設置の次にはパトリオット・ミサイルの配備が待っている、Xバンドの電波は10GHzと高周波であり、巨大な電子レンジが置かれると思えばいい。いま、北朝鮮のミサイルを悪用し、「反対しても、仕方がないのでは…」という空気をつくろうと狙っている。京都でどう運動が展開されるか、全国からも期待が寄せられていると語られました。

府民の会事務局長の戸田昌基（京都平和委員会・理事長）から、これまでの経過と今後の課題について提案。

科学者会議会員・寺岡あつこさんから電磁波の影響について、低周波が小児白血病を多発させるのに対して、携帯電話に代表される高周波は脳腫瘍の原因となっていることが明らかになり、その10倍の電磁波を発生するXバンドは携帯電話の10倍発症率が高まると指摘。米軍の隠蔽体質も問題が多いと訴えました。

日本共産党京都府議団・浜田良之府会議員が、21日に開催された京都府議会全員協議会での防衛局とのやりとりについて報告。結成集会のアピール（別紙）を自由法曹団京都支部・毛利崇・弁護士が提案し、拍手で採択されました。

最後に、安保破棄京都実行委員会代表・京教組委員長の河口隆洋さんが、今回の計画は、改めて日本を守るものではないことは明らかだ。わずかに数10分先には小中学校があり、数km先には高浜原発がある。亀岡の小学校では戦前に配布された多数のピラが見つかり、戦時下のもと反戦平和を訴えかけた人々が居たことは京都の誇りであり、たたかいの伝統をいかして、米軍基地ノーの運動をひろげようと訴えました。

なお、会場カンパは、92,798円寄せられました。

【結成集会アピール】

京丹後市・経ヶ岬への米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求めます

私たちは本日、米軍専用レーダー基地設置の撤回を求める京都府民の会（略称：米軍基地いらない京都府民の会）を結成しました。

私たちは、米軍基地の設置に反対し、とりくみを強めるものです。

日米政府は、日本で133番目の米軍基地を京都府北部、京丹後市の経ヶ岬に設置しようとしています。これは、今年2月22日の日米首脳会談で、日本にXバンドレーダーを追加配備することを合意したことから表面化しました。防衛省は、新聞報道では年内に設置をしたいとし、京丹後市長、京都府知事への説明をはじめ、地元への説明会を繰り返し行っています。しかし、この米軍基地の設

置理由は、まったく不鮮明であり、安全問題をめぐっても地域住民の不安を高めています。

防衛省は、「日本防衛に役立つ」としていますが、この米軍専用のXバンドレーダーは、米本土の核戦略にのっとったミサイル防衛のための「目」となるものです。Xバンドレーダーは、日本にとって絶対不可欠なものではまったくなく、わざわざ米軍専用レーダー基地を設置することは、この地域の軍事的リスクを高めることでしかありません。

また、防衛省は、Xバンドレーダーについて「安全」だと繰り返していますが、出力などの詳細を明らかにせず、住民の集落がすぐ近くに隣接することから不安が出ています。

さらに、防衛省は、地域経済に貢献できるとしていますが、地域経済が疲弊していることを逆手にお金で誘導するのはもってのほかです。そして、地元の水確保問題、米軍とその軍属が約160名配属されることによる犯罪や事件、事故などへの不安は解消できるものではありません。

米軍基地の設置は、地域の農漁業や住民生活への影響が危惧されるとともに、さらに、京丹後の海岸線での観光資源にも影響するものです。米軍基地設置近辺には、希少野生動物種であるハヤブサの飛来も確認されていますが、これらの、すばらしい自然環境もつぶされていきます。

私たちは、京都に米軍基地を設置することに強い危惧を抱き、その設置に反対するとともに、政府に対して、その撤回を強く求めるものです。

2013年5月22日

米軍専用レーダー基地設置の撤回を求める京都府民の会（米軍基地いらない京都府民の会）結成集会参加者一同



**現地「立て看板」(1,000円)に
御協力を御願ひします!!**